

平成30(2018)年11月7日

保護者の皆様

豊能町立光風台小学校

校長 増田 ゆか

「平成30年度全国学力・学習状況調査」結果および今後の取り組みについて

秋冷の心地よい季節、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育推進にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、本年度4月に本校6年生に実施いたしました「平成30年度全国学力・学習状況調査」の概況について、分析結果をまとめましたので、お知らせ致します。

調査内容は国語A、算数A（主として知識）、国語B、算数B（主として活用）、理科、児童質問紙（生活習慣や学習に対する意識等）で、調査問題、分析結果等の内容は国立教育政策研究所のHP、豊能町の結果概要と今後の取り組み等は町のHPで公表されておりますので、併せてご覧ください。

本校の結果ですが、国語、算数の平均正答率は、ABとも大阪府、全国を上回りましたが、理科はほぼ同程度でした。特に主として活用が中心のB問題については国語Bで7.3ポイント、算数Bで10.5ポイント全国平均を上回りました。ただし、この調査で得られる結果は学力の一部です。母数の少ない本校では、この調査結果を一人ひとりの児童の課題分析に活用し、授業改善に取り組んでいきたいと思っております。

■ 学力調査の結果

【国語A】(主として知識に関する問題) (○…相当数の児童ができている点 ●課題のある点)

全ての領域で全国平均と同程度か上回る結果でした。

- 図書館の行き方の説明として適切なものを洗濯する [1]
- 慣用句（心を打たれる）の意味と使い方の例の選択 [6]
- 主語と述語の関係に注意して文を正しく書く [5]
- 相手や場面に応じて敬語を正しく使う [7]

身に敬語は使わないことへの理解

池田さんがいらっしやいました。×私の母がおっしやっていた。(〇言っていた。)

【国語B】『「基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題」』

領域すべてにおいて、大阪府平均、全国平均ともに上回る結果でした。特に「書くこと」は、全国平均を10ポイント程度上回りました。

- 話し合いの参加者として、質問の意図を捉える [1]

●複数の資料の内容を関係付けて理解したり、表現したりすること

2-2 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして
くわしく書く (別紙問題参照)

誤答の特徴として、

- ・必要な情報のうち一つしか書けていない
(40%以上の児童)
- ・前後の文章に合う、ふさわしい書き方ができない

の2点が挙げられます。

3-1 目的に応じて複数の本や文章を選んで読む

【保健室の先生から分かったこと】

食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいにするので、おし便になりやすい。
- まんじゅうが溶かされ、食べ過ぎにならない。

だ液がたくさん出て口の中をきれいに保つ



よくかんで食べる

「かみかみあえ」は、ずきものをかき混ぜて、よくかんで食べることで、そのためのこのようなおし便がでる。

ポイント

- ・敬語の役割や必要性を自覚する時期なので、日常生活の具体的な場面と関連させて相手や場に応じた敬語を使うことに慣れさせる。
- ・複数の資料から目的や意図に応じて適切な内容を選択したり関係付けたりするような学習活動を仕組む。
- ・複数の本や文章を読み重ねたり、読み比べたりするなど、効果的な読み方を選択、活用する場面を意図的に作る。

【算数A】(主として知識に関する問題) (○…相当数の児童ができている点 ●課題のある点)
すべての領域で大阪府、全国平均ともに上回る結果でした。特に「数と計算」は、全国平均より11.8ポイント上回りました。

○十進位取り記数法で表された数の大小についての理解 2

○異なる2つの量のうち一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方の理解 4 (1)

○180度の角の大きさの理解 5 (1)

●円周率を求める式 7 (1)

○円周の長さ ÷ 直径の長さ
× 円周の長さ × 直径の長さ

●折れ線グラフから変化の特徴を読み取る 9

*いずれも府、全国平均を少し下回りました

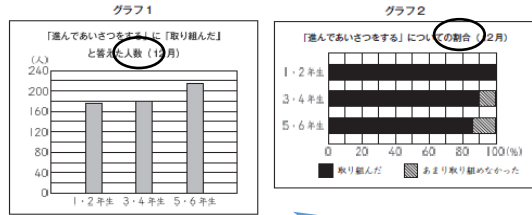
【算数B】『「基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題」』

すべての領域で全国平均を上回る結果でした。「図形」をのぞく「数と計算」「量と測定」「数量関係」はいずれも全国平均を10ポイント以上上回りました。

○全体で使える時間のうち、条件に合う時間を求める 2 (1)

○「32, 40」の2つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式で表す **4 (1)**

●棒グラフと帯グラフから読み取れることを適切に判断する **3 (2)** (別紙参照)



グラフが示す「人数」と「割合」の意味の理解に課題

* 60%の児童が単純に数字の大きいほうで判断

●折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付けて根拠を明確にして記述する **5 (1)**

ポイント

- 日常生活の中で主体的に問題を見出して情報を収集し、複数の表やグラフに整理し、グラフの特徴を基に複数の観点で考察するような学習活動を充実させる。
- 日常生活の問題の解決という課題を設定し、複数の情報を関連付けて論理的に考察し、根拠を明確にして説明したり、文にまとめたりする活動を充実させる。

【理科】(主として知識に関する問題と活用に関する問題を一体的に出題)

(○…相当数の児童ができている点 ●課題のある点)

大阪府平均は上回りましたが、全国平均より若干下回る結果でした。特に「エネルギー」は、大阪府、全国ともに平均より若干下回る結果となりました。

○野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ **【生命】 1 (1)**

○海水と水道水を区別するための2つの異なる方法の実験結果を分析して考察する **【物質】**

4 (2)

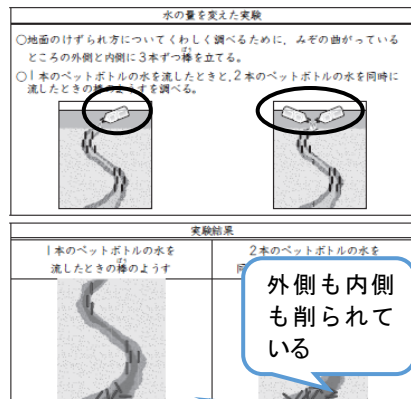
●一度に流す水の量と棒の様子との関係から大雨が降ったときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く

【地球】 2 (3) (別紙参照)

* 50%近い児童が「外側が削られる」と回答

●太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を水槽の温度を保つモーターづくりに適用する **【エネルギー】【地球】 3 (4)** (別紙参照)

●食塩水を熱した時の食塩の蒸発について実験を通して導き出す結論を書く **【物質】【地球】 4 (4)**



1本のペットボトルの水を流した時と2本の時との結果を比較して考察できていない。

ポイント

- ・自らの予想や仮説を基に実験計画を立案し、実験を行う前に予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通し、解決の方向性を構想させるような学習活動を充実させる。
- ・より妥当な考えを作り出すために、複数の情報を収集し、複数の情報を関連付けながら多面的に分析して考察する活動を意識して指導する。

■ 学習状況調査（児童質問紙）の結果

（😊 … 肯定的回答が多い良い傾向の項目 ☹️ … 肯定的回答が少なく課題といえる項目）
（ 経年で見て改善 ↗ 横ばい → 課題 ↘ ）

① 学校生活について



- ・学校のきまりを守っている ↗
- ・いじめはどんな理由でもいけない ↗
- ・学級の友達と話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。↗
- ・人の役に立つ人間になりたい ↗

経年で見て、きまりに対する意識の向上が見られ、学習集団づくりの一定の成果が見える結果でした。いじめは何かあってもいけないという意識は非常に高いですが、いじめ事象がないわけではありません。小さなトラブルを見逃さず、丁寧に指導していく必要を感じています。

ポイント

- ・学校の教育活動全体で丁寧に指導し、引き続き規範意識の醸成に努める。
- ・実感を伴う人権教育を一層すすめる。

② 学習について



- ・算数の勉強がすき ↗
- ・算数で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている ↗
- ・理科の授業で自分の考えを説明したり発表したりする →
- ・理科室で観察や実験を月1回以上行う ↗
- ・課題の解決に向け自分で考え自分から取り組む（初） ↗



- ・算数、理科で学習したことを普段の生活で活用できないか考える ↘
- ・理科の勉強がすき、大切だと思う ↘
- ・算数、理科の授業は将来役に立つ ↘
- ・理科で観察や実験の進め方が間違っていないか振り返って考える ↘

*今年度は国語の質問がなく算数と理科に対する興味や授業の理解度などの質問が中心でした。

主体的な授業をめざしている中、ほぼ全員が課題の解決に向け自分で考え自分から取り組んでいたと回答しているのは喜ばしいことです。一方、全国的な傾向と同様、勉強はまじめに取り組むけれど好きではなく、学習したことを普段の生活に結び付けて考えようとならない児童、理科の勉強が好きではない児童の割合が全国平均より高いことが課題と言えます。



ポイント

- ・生活に生かせる魅力的な課題の工夫など学習意欲の喚起に努める。
- ・有用感を醸成する、実感を伴う学習活動を工夫する。
- ・教科を超えて、学びを活用する場面を積極的に設ける。

③生活の様子について

★ 自尊感情や自己肯定感







- ・自分にはよいところがある 
- ・先生はあなたのよいところを認めてくれている 

「自信を持ち、自分自身を大切だと思えるようにほめる、認める」「お互いの良いところを認め合う場面を作る」指導を大切にしています。「自分にはよいところがある」も「先生はあなたのよいところを認めてくれている」も全国平均より高く、経年で見ても肯定的回答の割合が増えており、一定の成果があったと捉えています。ちょっと困難なことにも挑戦させていくなど、教育課程全体を見直し、計画的に取組みを進めていきたいと思えます。

★ 読書や家庭学習





- ・平日に一時間以上読書している 
- ・学校の授業以外に、平日一日当たり1時間以上勉強する 
- ・家で、自分で計画を立てて勉強している（全国より10ポイント以上高い） 
- ・家で学校の宿題をしている（100%） 

経年で見ても学校の授業時間以外に読書をしている児童の割合が年々増えており、読書習慣が定着していることが分かります。計画的に家庭学習をしている児童の割合も増加傾向にあります。自主学ノートなど家庭学習に意欲的に取り組む仕掛けを今後も工夫していきます。

★ 家庭での過ごし方



- ・毎日朝食を食べる、毎日同じくらいの時刻に寝て同じくらいの時刻に起きる 
- ・家の人と学校の出来事について話をしている 





週末に家でテレビやDVDを見たり、ゲームやインターネットをしたりしている(初)

生活リズムが整っていることや家庭での会話と学校での落ち着いた学習集団との相関を調べてはいませんが、ご家庭で児童が安心して過ごせていることが学校生活での安定に繋がっていると感じます。

今年は携帯電話の使用状況の質問はありませんでしたが、ゲームやインターネットをしたりしている児童の割合は昨年度に続き、全国平均より若干高い結果でした。高いことは一概に悪いことではありませんが適切に使用されるよう留意する必要があります。

★ 地域との関わり



- ・地域や社会で起こっている出来事に関心がある 
- ・住んでいる地域の行事に参加している (全国と同程度) 



- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある 

昨年度に続き、地域の方々と学ぶ機会や地域行事への参加の機会を多く持っていますが、経年で見ると割合は若干減っています。ボランティア活動への参加の割合は経年で見ると増えていますが、全国平均と比べると少ない結果となっています。ボランティア活動への参加が課題というよりは、地域、保護者と連携しながら主体的に地域社会に参画していく態度を養うための取り組みをいっそう進めていければよいと感じました。



- ・依然課題であるテレビやDVD、PC、スマホ利用のルールの特明確化を促す
- ・地域行事に児童が主体的に参加できるような方法を地域の方々と検討する

■ 今後に向けて

以上のおり、特徴的な項目のみを取り上げて報告いたしました。学習面では「複数の情報」の取り出し、比較、統合がキーポイントだと分かりました。生活面では落ち着いて生活していること、地域や家庭のご協力に支えられていることがよく分かる結果でした。この結果を真摯に受け止め、課題については全職員で共有します。

引き続き児童にとって安全で安心な学校、学ぶことが楽しくてたまらない学校をめざして、ご家庭や地域のみなさまと連携しながら取り組みを進めていきたいと存じます。今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。